

## サイバー空間の脅威の情勢：極めて深刻

『令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢』  
が警察庁ウェブサイトにおいて公表されました。

[https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R04\\_cyber\\_jousei.pdf](https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R04_cyber_jousei.pdf)



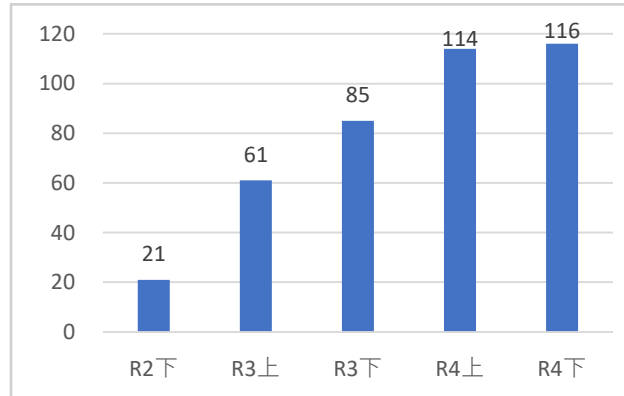
### ① ランサムウェアの感染被害が拡大

#### 〔情勢〕

- ・ 令和2年下半年期以降、右肩上がりで増加中
- ・ V P N機器等からの侵入が多数
- ・ 企業・団体等の規模や業種を問わず広範に発生
- ・ 復旧に2か月以上の期間や5,000万円以上を要した被害も発生

#### 〔対策〕

- ・ 機器等の脆弱性対策（パッチ等の適用）
- ・ バックアップデータをオフラインで保管



[ランサムウェアの被害の報告件数]

### ② インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

#### 〔情勢〕

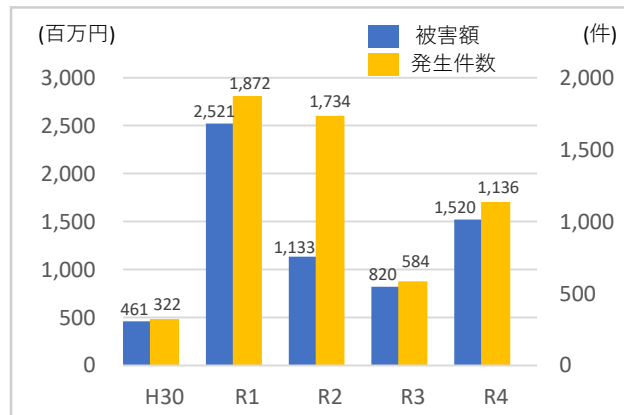
- ・ 発生件数、被害額が前年より増加
- ・ 被害の多くがフィッシングによるものとみられる

#### 〔対策（個人向け）〕

- ・ O S、ソフトウェア等の更新
- ・ ワンタイムパスワード等の活用
- ・ メール等のリンクは安易にクリックしない

#### 〔対策（企業向け）〕

- ・ D M A R C（※）の導入
- ※ なりすましメール対策技術



[インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額]

### ③ 我が国に対するサイバー攻撃が相次いで判明

北朝鮮のサイバー攻撃グループによる国内の暗号資産関連事業者に対するサイバー攻撃や学術関係者・シンクタンク研究員等に対する標的型メールによるサイバー攻撃が発生

